

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はまなす（放課後等デイサービス）			公表日 令和8年3月2日		
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	4	1	状況、時間帯などで調整しながら過ごしている パーティションを活用したり、時間差で使用するなど工夫している	生活介護と共有スペースである 必要なスペースは確保できているが、キッズスペースは生活介護の方も使うため、狭く感じる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			時間休その他で職員の休みが重なると配置が厳しい時がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	その日、状況に応じて柔軟に対応している	段差があるため、つまづいているのを何度もみている。できるならば段差がほぼないマットとか使用したい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		その日、状況に応じて柔軟に対応している 清潔な空間になるよう掃除している マットでスペースを区切ったり、小さな部屋に分かれて活動したり環境を整えている 感染予防対策のため、消毒や換気等を行っている（同意見あり） 壁面制作で季節感を取り入れている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		周囲の音や声に驚いてしまうこともあるため、リハ室や多目的コーナー等を利用している（同意見あり）		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員間で、前回の様子の確認等を行い、支援している 支援員の他、療法士、看護師などの意見も取り入れている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者とのコミュニケーションを適時とっており、意向の確認ができている 評価表の結果の他、個別面談の時の意見や意向も取り入れている	評価表の取組みは毎年実施しているが、業務改善の取組みは弱いと感じている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		朝と夕の打合せなどで振り返りの時間をとっている 職員会議で意見交換し、改善している	評価表の取組みは毎年実施しているが、業務改善の取組みは弱いと感じている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		現在、第三者による外部評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修等定期的に実施している 外部や内部の研修に参加できている サボカレを有効活用している		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		年1回は見直す時期を決めて作成している 法人のサイトにて公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		学校生活での課題なども取り入れて、客観的に分析している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援に関わる職員等で、会議などを行い、利用児の状況、支援者の気になることを話し合う機会がある 日々の支援の中で気づきなど吸い上げている	十分な共通理解が図れるよう話し合える場の設定、工夫が必要	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		夏休みなど長期休みでは、各児童の「夏休みにやりたいこと」をリスト化している 支援計画会議録を回覧している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		5領域20項目の評価表を作成し、参考としている	個人的に十分な把握ができていない（周知、共有が弱い）	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		こどもの発達状態に合わせて設定している 本人の役割も具体的に入れてある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		長期休みでは、個人の目標を決め、取り組むことができる	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	季節行事を中心に様々なプログラムを作成している	利用児の都合（帰宅時間）などもあり、新しい活動にあまり取り組めていない
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動では、利用児に合わせた内容を決め、立位、歩行、感覚遊び等を行っている 生活介護の利用者と一緒の余暇活動に参加している（同意見あり）	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		送迎の確認や前回の利用時の様子(体調面)など職員で共有している ホワイトボードを活用し、動きや一日の流れを見える化している	個々の状況の確認には至らないことが多い
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		朝と夕の打合せなどで共有している 振り返りと翌日の動きを確認している	個々の状況の確認には至らないことが多い 課題、取組みに対して振り返りまでできないことが多い
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		様子や個別支援、排泄など項目ごとに分けて記録し、支援に活用している	課題、取組みに対して振り返りまでできないことが多い
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	定期的実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		個人的に充分把握できていない（周知、共有が弱い） 日常的な地域との交流は図れていない
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		絵本読みの時に読みたい本を選ぶなど、選択の機会をつくっている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		対応の用意はある	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	急変時の対応は整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校行事、下校時間などで不明な点がある場合には、下校時に学校と情報交換を行っている 学校から年間計画をいただいたり、メーリングリストに加入して情報共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	相談支援を軸に、情報共有、相互理解への体制ができています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		相談支援を軸に、情報共有、相互理解への体制ができています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	年1回だが児童センターとの研修の機会がある	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		地域の子どもと接する機会は少ない サマースクールなどの時くらいである
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		利用中の様子を連絡帳やお迎え時に伝えて いる。電話などでも様子確認を行っている（同意見あり）		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		家族参加の研修機会の設定はない 家族が参加できる研修など実施してもよいかも。以前、腰痛の研修を家族に行ったこともある
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		子どもや保護者の意向を尊重し、支援計画に優先順位をつけてサービス提供している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		今年度は個別面談会を開催した	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3		保護者会などはできていない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情はないが、あれば迅速かつ適切に対応する	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		はまなすだよりや行事に参加した場合には、ブログ等で発信している 夏休みの様子は写真入りで発信している 誕生カードを作成している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		取扱いに注意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		本児の意思を尊重している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	法人全体の地域交流秋まつりや今年度は50周年のイベントへの招待をした	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	必要な時期に研修を実施し、みんなに伝達し、情報共有している	家族への周知、訓練が充分ではない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		法人全体のBCP研修や毎月避難訓練をひのきの杜と合同で行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		職員間で情報共有をしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	食物アレルギーのある子どもはいないが、いるならば対応する	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画は保護者にも周知し、計画に沿って支援している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	安全計画策定時に保護者に説明し、確認印をいただいている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		改善策について多くの職員が検討会議に参加して、対応を検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		繰り返し研修を設定している サポカレ動画などを使用し、定期的に内部研修が行われている 虐待防止委員会が中心となって、研修やスローガンで啓発している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		通所支援計画に記載している ケース会議にて検討している		